

教育委員コラムを振り返る



教育委員 菅原 誓之

本号で教育委員コラムも第39号の発行となりました。このコラムを発行するに至った経緯を知っている委員も、私のみとなりました。発行当初は小澤重委員長（当時は委員長制度）、小林俊夫教育長、藤原将男委員長職務代理、榎本悦子委員、菅原の5名というメンバーでした。

毎年、札幌で開催されている全道教育委員研修会に、この5名で参加した時のことです。3名ほどの各町村教育長が、それぞれの教育活動の特色を発表しました。そのうち、ある町の教育長が発表した内容が、教育委員として年に数回広報紙を出しているという報告でした。この時には何も話は進まなかったのですが、その後の定例教育委員会で小澤委員長がこの話を振り返りました。「考えてみれば、私たちは教育委員として毎月の定例教育委員会で議案の承認や専決処分承認をするばかりで、どんな活動をしているのか知らない人たちが沢山いますよね」と。この言葉に一同が賛同し、コラムを発行することとなりました。また小林教育長から、事務局（管理課職員）の仕事を増やすわけにはいかないので、自分たちで編集するという提案があり、2011（平成23）年8月に第1号が発行されました。

第1号～第9号（2014（平成26）年9月）の編集は、藤原委員長職務代理が担当しました。第10号（平成26年12月）～第30号（2021（令和3）年8月）は私、菅原が担当しましたが、新聞作成ソフトを使用したため、コラムのファイル容量が大きくなりご迷惑をおかけしました。その後、第31号（令和3年12月）～第39号（令和6年8月）は宮田昇子委員が編集を担当しています。

長年、記事の投稿においては、ネタ不足に困っています。特にコロナ禍では学校行事や社会教育事業などが中止になり、各委員もかなり苦労していたようです。

今回、このコラムを書くにあたり、これまでのコラムを遡って見てみました。懐かしい記事や思い出を振り返ることができました。皆さんも「弟子屈町ホームページ」～「教育・文化・スポーツ」～「教育」～「教育委員コラム」からバックナンバーをご覧ください。

次回のリレーコラムは金井教育長職務代理者です

No. 39

2024/8

発行／弟子屈町教育委員会
教育長 岩原 勝行
教育長職務代理者 金井 秀明
委員 菅原 誓之
委員 吉田 一徳
委員 宮田 昇子

思いやり・助け合いの大切さを学ぶ…人権教室

教育長 岩原 勝行

相手への思いやりの心や助け合いの大切さなどを学ぶ「人権教室」が7月12日、川湯小学校で開催されました。

町の人権擁護委員である金井典子さんと芳藤啓順さんが講師を務め、1～3年生はアニメを視聴した後、誰にでも得意なこと、苦手なことがあるけれど、助け合いによってうまくいくことを学んでいました。4～6年生は、仲良く学校生活を送るために必要なことをグループで話し合い、「悪口を言わない」「けんかをしない」「みんなといっばい話す」「協力し合う」などを短冊に記入し、発表していました。



給食体験

教育長職務代理者 金井 秀明



先日、弟子屈中学校で移動教育委員会が開かれ、給食をいただきました。過去にも給食を食べたことは何度かあったのですが、今回初めて、ラーメンをいただきました。自分で袋を破って食べるソフト麺を食べてことはありませんでしたが、今回はラーメン屋さんで出て来てもおかしくない本格的なもの。さらに食後のデザート付きです。献立は「五目ラーメン」「牛乳」「冷凍パン」で、カロリーは538kcal、タンパク質24.4g、脂質15.5g、食塩3.0gだそうです。麺も多く、自分的には十分な量でした。食塩も3.0gで、病院で「食塩は控えめに!」と注意を受けている身ですが、罪悪感なくスープも飲みました。コッペパンと脱脂粉乳で育った私には、まさに隔世の感あります。

弟子屈中学校教育懇談会

教育委員 菅原 誓之



6月28日、移動教育委員会が弟子屈中学校で開催されました。定例の教育委員会終了後、各学

年の授業参観をさせていただきました。この日は気温が高く、各教室とも扇風機とサーキュレーターがフル回転。時には窓からの風で空気が抜けているようですが、早急なエアコンの設置が必要だと感じました。

その後の教育懇談会には、PTA役員と地域おこし協力隊の方も同席。小林一博校長から、学校の概要や教育活動の取り組みについて報告していただきました。弟子屈学（ふるさと教育）を通して、改めて生徒の郷土愛を育み、地域と共にある学校を目指している姿が感じ取られました。

北海道市町村教育委員会研修会

教育委員 吉田 一徳

7月18日に行われた、北海道市町村教育委員会研修会に参加してきました。

道教育委員の川端絵美氏による講話と北翔大学の飯田昭人教授の講演、赤井川村・平取町の両教育長による事例発表があり、全道から参加した多くの教育委員が熱心に耳を傾けていました。

特に、飯田教授の不登校問題に関する講演では、不登校に対する考え方が近年変化してきていること、社会問題の縮図として学校問題が多岐にわたっていることから、学校内ではなく地域社会全体で問題解決に取り組むべきなどの提言がありました。

研修を受けて得るものが多くありましたが、できることなら動画配信サイトなどで研修内容を視聴できるようにしてほしいと思います。



豊かな学びのお手伝い

教育委員 宮田 昇子

町教育委員会では、年間を通して様々な生涯学習事業を行っています。今年度も、カメラでの撮影方法や美しい文字の書き方を学ぶ教養講座をはじめ、ピラティスなどのスポーツを体験するもの、釧路川でのカヌーや硫黄山でのトレッキングといった自然体験など、バラエティに富んだ事業を展開。お子さんから高齢の方まで各世代を対象に、皆さんの日々の暮らしが豊かなような学びのお手伝いができたらと、工夫を凝らしながら取り組んでいます。

広報紙や町のホームページで知らせや募集を行っていますので、チェックしてみてください。



パリオリンピックが開幕しました。無観客だった3年前の東京オリンピックを思い返しつつ、今回はたくさんの観客の前で躍動する選手たちに釘付けになっています。

夏は子どもたちにとっても熱い戦いの時。中学生は全道大会真っ盛り。高校生はインターハイが繰り広げられています。

インターハイと言えば、今年の大会愛称が個人的に胸に刺さりました。「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024」コロナ禍を経験した大分県の高校1年生の作品で、大会を開催してくれた人、自分を支えてくれた人への感謝を強さに変えて全力で戦い抜くという意味を込めたそうです。

辿り着いた大舞台で、みんなが力を出し切れそうですよ。(宮田)

編集後記